

あふかり



平成30年4月、 大学院看護学研究科／助産学専攻科 開設！

敦賀市立看護大学では、平成30年4月から大学院看護学研究科(修士課程)が設置されます。大学院看護学研究科では、高度な看護実践力を基盤にした学術研究を通して看護技術の開発に貢献する人材、更なる看護学体系の構築に寄与することができる人材の育成を目指します。本学の研究科に設置された看護学専門分野は地域のニーズに対応した「救急・災害看護学」「地域・在宅看護学」「母子看護学」です。

本学ならびに他大学の学部を卒業した方で更に看護学の学習を深めたい方、また、医療現場で働く社会人の方で研究課題をもって学習に臨みたい方の入学をお待ちいたしております。

同じく平成30年4月から敦賀市立看護大学には1年コースの助産学専攻科も設置されます。助産学専攻科では、豊かな教養と総合的な判断力、高度な専門的知識と実践力を有する人材の育成を目指します。助産学専攻科を修了しますと助産師の国家試験受験資格や新生児蘇生法「専門」Aコースの認定資格が得られます。本学専攻科は、近年の少子化現象や育児にあたっての課題等を解決するために、妊娠・分娩・育児をはじめ女性の健康等に関して科学的視点をもって看護に携われる助産師の輩出を行い社会に貢献していきます。

将来、助産師を志す方の入学をお待ちいたしております。

カナダ語学留学

(平成29年9月6日～9月27日)

学事

今年度も平成29年9月6日から9月27日までの約3週間、カナダケローナにあるオカナガン大学 (OKANAGAN COLLEGE) において語学研修を実施し、本学2年生の21名が参加しました。午前中は大学での英語の講義を受講し、午後は医療・福祉施設を訪れカナダの医療・看護を学び、またフリーな時間も持つことができました。参加した学生は、英語での会話に最初は四苦八苦しながらも、徐々に慣れ日本では経験できないようなことを多く学び、充実した語学留学となりました。



カナダ留学を終えて

今回の語学研修プログラムを通して、本場の英語に触れることで私の英語力も向上しました。また、英語だけでなく日本と異なる文化に触れることは私の世界を広げる大きなきっかけになり、今後もさまざまなことに挑戦したいと思うようになりました。

この語学研修で学んだことを今後の人との関わりや自分の人生に生かしていきたいと思っています。

(高橋 将輝)



カナダ留学を終えて

私は、カナダでの語学研修を通して多文化交流について深く理解できたと思います。カナダの大学にはカナダ人だけでなく様々な国から、私達のような留学生が来ており、服装の違いや慣習の違いを知ることができました。留学生たちは、言葉だけではなかなか通じない場面もありましたが、ボディランゲージや表情などで上手くコミュニケーションをとっていました。

言葉は意思を伝える上で重要なものではあるけれど、言葉以外でも伝えられることがあるということを今回の研修で学びました。
(橋詰 結)

2017 海凜祭

(平成29年11月4日)



第4回目を迎えた今年、海凜祭は、昨年度の看護専門学校の閉校をもって、初めてとなる4学年揃っての単独開催となりました。学生だけでなく地域の方にも楽しんでもらえますように、テーマ「愛～地域とつながる～」にその願いを込めました。あいにくの天気での開催になりましたが、多くの方にご来場いただき、大盛況のうちに、海凜祭を終えることができました。

母性看護学

教育紹介

本学では1年生で基礎看護学を、2年生になると領域別の看護専門分野を学びます。看護専門分野の一つである母性看護学では、周産期(妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期)に焦点を当て、母子とその家族の看護を学びます。子どもをより健康な状態で産み育てるための看護について理解を深めていきます。3年生後期の母性看護学実習では、周産期にある母子(児)を受け持ち、生命の神秘・尊厳、母子(児)とその家族に対して、看護職者としての責任と役割を学んでいきます。



高浜町 和田de路地祭

(平成29年9月18日)

交流



高浜町「和田de路地祭」に 本学学生が参加してきました！

本学学生4名が、県内5大学で行っている地方創生推進事業(COC+)において「まちづくり分野」の活動の一環として高浜町和田地区で行われた「和田de路地祭」に参加しました。開催に向けて各大学の学生は、“地域活力の向上”を考え、地元住民の協力をいただきながら活動に取り組みました。本来であれば9月17日も開催予定でしたが、台風接近のため9月18日一日のみの開催となりました。突然の会場変更というハプニングもありましたが、その中で本学学生は「海の中での体力測定」という企画で祭を盛り上げました。また、この取り組みについては9月22日に、福井工業大学で開催されました“ふくいCOC+事業推進協議会”の実践活動報告会でも本学学生が活動報告を行いました。本学では地域交流の機会として、敦賀市をはじめ嶺南地区全体で今後も取り組んでいきたいと考えています。

※地方創生推進事業(coc+)とは…県内全ての4年制大学(本学を含む5大学)が、福井県および産業界・医療界等と一体になって、地域の持続的な発展とイノベーションを推進する担い手を育てようとする事業です。(詳細は<http://www.allfukui-cocp.jp/>をご覧ください)

福井地区大学図書館協議会夏季研修会

(平成29年8月29日)

8月29日、本学において、福井地区大学図書館協議会夏季研修会が開催されました。本協議会では、県内の大学図書館が連携して、本の貸借や図書館サービス向上のための話し合いなどを行っています。その活動の一環として、毎年、夏季研修会が開催され、今年は当館が幹事を務めました。夏季研修会には、各図書館から計15名の参加があり、大下邦幸附属図書館長による講演「英語教育の現状とこれから」に熱心に耳を傾けていました。また、情報交換会では、お互いの図書館が抱える問題点や課題について話し合いが行われました。



地域創生の担い手を育み活気あるふくいを 創造する5大学連携事業 看護福祉分野WG

交流

9月30日、本学において、看護学生のためのシンポジウム「在宅療養を支える多職種連携の現状と課題」を開催しました。福井大学、福井県立大学、敦賀市立看護大学の看護学生を中心に約200名と非常に多くの参加があり、関心の高さがうかがわれました。参加者は敦賀市の在宅医療・介護の第一線で活躍されているシンポジストの話に耳を傾けました。アンケートでは、「在宅医療・介護の領域への関心が深まった、やや深まった」と回答した人が96%を超え、「様々な立場の方の話を聞いて良かった」、「看護師へ求められているモノが大きくなっていると思った」などの感想が寄せられました。学生には、授業では聞けない現場の話を聞くことで、多職種連携について考え、その必要性を実感してもらいたいという思いで開催したシンポジウムでしたが、大変有意義なものとなったように感じます。



大学連携センター 『Fスクエア』1st Anniversary

4月15日、県内全ての高等教育機関の学生が集い、学べるサテライトキャンパス「Fスクエア」の1st Anniversaryが開催されました。本学からは、4年生26名と教職員が参加し、福井駅前アップロードで健康チェックを行いました。また、同日AOSSA7FのFスクエアで開催された「こどもまなびフェスタ」におきましても上記の学生および教職員により救急実践講座を開講しました。両コーナーとも大盛況で、小さなこどもからお年寄りまで本学名を強く印象付けるイベントになりました。



ふくい学生祭 「企業コンテスト」で見事優勝!

私たちはふくい学生祭の企画の一つである「ぎゅっと60」^{ろくせろ}に参加し、見事動画部門で1位をいただきました。「ぎゅっと60」とは福井県内の企業を取材し、その企業の魅力を60秒にまとめて紹介をするという企画です。私たちは医薬品メーカーである小林化工株式会社さんをプレゼンさせていただきました。実際に企業の方へ出向き、台本から小道具まで自分たちで一から作成しました。大変なこともありましたが、とても貴重な経験をさせていただけたと思います。今後もこのような外部の企画に積極的に参加していきたいなと思います。

(浦 咲月、中野 鈴奈)

敦賀市立看護大学 研究報告会

「地域・在宅ケア研究センター」の事業として、平成29年11月7日に「第1回敦賀市立看護大学研究報告会」を開催しました。報告会の目的は、研究成果や実践活動を通して、多職種が連携を深め、看護や地域医療保健福祉活動の質の向上に資することです。病院や介護施設から8演題、大学から5演題の研究報告があり、参加者は70人でした。「納得のいく報告ができた」「他施設や大学における研究内容がわかり勉強になった」「興味深い内容だった」などの感想が寄せられています。今後、学生や院生の研究報告も視野に入れ、多職種が切磋琢磨できるような内容にしていきたいと思っています。

災害・救急

救急・災害看護研究センターを開設しました



平成29年度より、本研究センターを設置いたしました。大学と地域、大学と医療界が連携し、救急や災害に強い地域づくりに貢献したいと考えています。初年度では、本学と敦賀美方消防組合が連携し、15名の学生参加による敦賀消防団機能別班(通称、学生団員)を設立し、活動を開始しました。現在の主な活動は、小・中・高校生や国体関係者に心肺蘇生法の指導、応急手当普及活動等に努めています。今後も、地域の方々が安心して暮らせるまちづくりを目指し、研究を含めた活動をしてまいります。

学生の活動

合唱
サークル

現在、合唱サークルのメンバーは14人で初心者、経験者に関係なく和気あいあいと活動しています。地域の方にもご協力いただき、ピアノやギターに合わせて、大学祭や、市内のデイサービスでの訪問コンサートなどで、披露させていただいています。自分たちで選曲し、その曲に込められたメッセージが届き、すこしでも安らぎの時間が共有できますように気持ちを込めて歌っています。多くの方に歌の魅力、素晴らしさを届けられればと思っています。



こんな知識も！ 近赤外光でうつ病を早期発見！

精神看護学 長井 麻希江

うつ病は世界的に増加傾向にあり、我が国の患者数は100万人以上(2008年厚生労働省患者調査)とされています。しかし、実際には症状が重い患者ではなく、軽症者又はうつ病と診断される基準以下の抑うつ状態の患者が増えているとも推測されています(日本うつ病学会治療ガイドライン)。実は軽症のうつ病については、その診断基準が各国で一致しておらず、治療のエビデンスが乏しいのが現状です。海外では、薬物治療よりも認知行動療法などを推奨するガイドラインが少なくありませんが、日本では一人ひとりの状況を十分に理解して検討することが推奨されています。



近年、日本で開発された光トポグラフィ検査は、微弱な近赤外光を使って大脳皮質の血中ヘモグロビン濃度変化を計測することにより、前頭葉の血流量の変化パターンが測定できるようになりま

した。これにより、**抑うつ症状の診断補助が可能となり、今後は明確な診断と治療効果に関する研究が進むと予想されています。**とはいえ、重要なことは抑うつ状態に陥る前の「予防」であり、**普段からストレスをためないように過ごすことや良質な睡眠を確保することなどを心がける**必要があるでしょう。



参考文献 1) 日本うつ病学会：日本うつ病学会治療ガイドライン2016.
2) 日本メンタルヘルス研究センター：うつ病予防ナビ、
<http://utu-yobo.com/topography.html> (2017年3月29日閲覧)

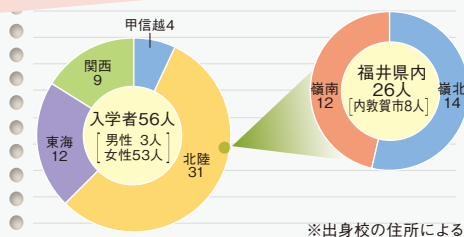
敦賀市立看護大学 ジャーナル

敦賀市立看護大学は敦賀市、嶺南地域における「知」の拠点としてその機能を果たすべくジャーナルを公表しています。今年度は2号・3号合併号として、冊子を作成する予定です。

◎本ジャーナルが幅広く医療に関心ある方々のお役にたてればと考えています。

入試関連情報

平成29年度入学生の 地域別内訳



科目等履修生・ 聴講生の募集について

敦賀市立看護大学では、学生たちと一緒に学ぶことができる科目等履修生・聴講生を募集しています。詳細は本学ホームページの「地域・一般の方へ」のページをご覧ください。

平成29年度 市民公開講座等実施状況 (抜粋)

本学では、さまざまな団体からご依頼をいただき公開講座等を実施しております。今年度の実績を抜粋して掲載します。

講師派遣を含め 計39件【県内24件(市内11件)、県外15件】※11月現在

講座テーマ名等	講師	実施団体	実施場所
格好良い年の重ね方 ～体のメンテナンスについて～	鈴木 隆史	船員災害防止協会敦賀地区支部	あいあいプラザ
笑いと健康	畑野 相子	中郷地区老人会	中郷公民館
高齢者の健康 (老化に伴う心と体の変化、栄養と食事等)	北村 隆子	敦賀いきいき生涯大学(元気づくりコース)	あいあいプラザ
信頼関係をつくるコミュニケーション (コミュニケーションの方法、信頼関係をつくるには等)	長井麻希江	敦賀いきいき生涯大学(元気づくりコース)	あいあいプラザ
データの活用と展開	喜多 義邦	二州健康福祉センター	三方青年の家
女性のための元気づくりスクール	山崎 松美	敦賀市	松原公民館
知っていますか?くすりの常識・非常識	山崎 弘美	大野市教育委員会	学びの里「めいりん」
認知症にならないための脳の体操	中堀 伸枝	若狭町教育委員会	リブラ若狭
学問発見講座	畑野 相子	福井県立若狭高等学校	福井県立若狭高等学校
元気を呼ぼう(予防!) ～転ばない体づくりをめざして～	家根 明子	あわら市教育委員会	あわら市湯のまち公民館

上記の他に、自治体などからの委員等のご依頼も多数いただいております。

図書館だより

敦賀市立看護大学附属図書館は学外の方もご利用いただけます。

利用できる方 ◎敦賀市に在住又は勤務する18歳以上の方
◎その他附属図書館長が適当と認める方

開館日時 ◎通常時 9:00～19:00
◎休館日 土曜日及び日曜日 国民の祝日
※詳細は本学のホームページを参照してください。

貸出 ◎図書は館外貸出が可能です。ただし、雑誌・新聞・視聴覚資料・禁帯出資料を除きます。
◎館外貸出には、「学外利用者証」が必要です。
※「学外利用者証」の発行を希望される方は、現住所の分かる身分証明書(運転免許証・保険証・職員証)をご持参の上、カウンターへ申し出てください。



◎貸出冊数: 5冊以内
◎貸出期限: 2週間以内

返却 ◎図書は、必ず返却期限内にカウンターへご返却ください。
◎1冊でも返却期限を過ぎた図書があると、新たに図書を借りることができません。

学生食堂のご案内

敦賀市立看護大学の学生食堂は一般の方もご利用いただけます。リーズナブルなメニューが揃っていますので、近くにお立ち寄りの際は、ぜひご利用ください。

営業時間 平日11:30～14:00(13:30ラストオーダー)

メニュー ○日替り定食500円(学内者400円)
○日替わり麺350円(学内者250円)
○カレー500円(学内者400円) など



※営業時間、メニューは平成29年度のもので、
※夏季、年末、年度末は長期休業する場合があります。

編集後記

ここに、大学ニュース4号をお届けします。開学から4年経過し、漸く1年生から4年生まで揃い、各教室は学生が満ち、賑やかな明るい声が学舎にこだまするようになりました。4年生が期待に胸を膨らませ、入学してきたのがつい先日ようですが、もう数か月すると卒業です。月日の経つことの速さに驚かされる近頃です。

来春実施される国試の壁を越え、大きく社会に羽ばたいていく姿をもうすぐ見られますことは無上の喜びであります。

地域医療とともに本学がますます発展しますように、今後とも皆様のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(編集委員長 住本 和博)